

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



全力救急

23

救命救急センター
Emergency & Critical Care Center



集中治療部長 山田 周



救命救急部長・救命救急センター長 櫻井 聖大

【特集】

救命救急センターのご紹介

- VOICE
- 医学シリーズ 脳神経外科
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明



096-353-6565
096-353-6566

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

FAX 096-353-6563

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター

National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード

特集

救命救急センターのご紹介

当院の救命救急センター外来では、年間6,000台以上の救急車や約100台のヘリコプターを受け入れるとともに、歩いて来院される患者さまの診療も行っております。救急担当医が初期対応を行いつつ迅速に診断を行い、各診療科の専門医へ引き継いでいます。対応する疾患の重症度は軽症から最重症まで幅広く、多岐にわたることが特徴です。加えて当院が精神科病床を有することから、自殺企図などの精神科救急疾患が多いのも特徴となっております。2021年の1年間では、病院外心停止177名、急性冠症候群138名、重症大動脈疾患26名、重症脳卒中145名、重症外傷270名、重症熱傷12名、重症中毒47名、敗血症334名、重症呼吸不全120名、重症心不全56名の受け入れを行いました。「救急外来は病院の顔である」という自覚をもって、日々診療に当たっております。

救命救急センター病棟は、救命病棟44床にICU6床を加えた50床で運営しており、全国でも有数の病床数を誇ります。救命病棟では人工呼吸器管理を要するような方の受け入れを中心に行い、持続的血液濾過透析(CHDF)や血液吸着療法(DHP)、ECMOといった体外循環を要する治療を行う方はICUでの治療を行っております。なお、当院は重症COVID-19の入院治療を行っておりますので、COVID-19流行時においてはICUをCOVID-19病棟とし、ICUの機能を救命病棟の一角に移し、通常の重症患者さまの治療を行うようにしております。

「24時間365日断らない救命救急医療を目指す」を理念に掲げ、全職員を挙げて救命救急医療に取り組んで参りますので、今後とも御指導・御鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

救命救急部長・救命救急センター長
さくらい としひろ
櫻井 聖大



VOICE

登録医の声



まえはらクリニック

院長 前原 ゆういち 優一



◆貴院のアピールをお願いします

熊本市の新規透析導入患者の減少を目指したCKD（慢性腎臓病）対策事業を診療の軸に、2021年10月1日、出水ふれあい通りに開院しました。CKD、動脈硬化および生活習慣病と関連する、歯周病に介入するため歯科を併設しました。同一院内での医科—歯科連携により、一層良質なCKD進行抑制治療が行えます。地域の皆さまの健康管理から専門性の高いものまで、ご納得頂ける医療を提供できるよう、スタッフ一同努力して参ります。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

以前は有志の社会人軟式野球のチームの練習に週1回参加して汗を流していましたが、コロナ禍で練習が出来なくなりました。最近の趣味は、故郷沖縄を偲ばせる音楽を聴いたり、海水魚を飼育、鑑賞することです。お勧めスポットは、震災後に改装された城見櫓です。熊本城を望める部屋は、ご家族や親しい友人との贅沢なひと時にお薦めです。

◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

高齢のCKD患者は心血管病発症リスクが高く、発症して貴院に搬送された際には、急性期の治療を宜しくお願い致します。その他、悪性腫瘍や血液疾患、消化器疾患など、様々な病態の精査、加療をご依頼申し上げることもあると思います。また、腎臓内科の先生方には、これまでのように、



腎生検適応患者をご紹介申し上げる予定です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【診療科目】

腎臓内科・内科・歯科

【診療受付時間】

月・水・木・金 午前：8時30分～13時
午後：14時～17時30分

火・土 午前：8時30分～12時30分

【休診日】

日・祝・12/30～1/3

【住所】

〒862-0941 熊本市中央区出水4丁目25-28

【TEL】

096-373-1221

【FAX】

096-373-1222



最近のトピックス

怖い頭痛(二次性頭痛)について

国立病院機構熊本医療センター
脳神経外科部長なかがわ たかし
中川 隆志

怖い頭痛とは

普段感じる頭痛の多くは、原因となる病気のない「一次性頭痛」です。一方、病気が原因で引き起こされる頭痛が怖い「二次性頭痛」です。

一次性頭痛とは

●緊張性頭痛

長時間の無理な姿勢やパソコンなどの使用で、目の疲れや倦怠感と共に痛みが現れる最も多い頭痛です。後頭部、後頸部、こめかみ、額を中心に頭重感、圧迫感、締めつけられるような痛みがしばらく続きます。

●片頭痛

頭の片側(ときに両側)が脈打つようにズキズキと痛みます。吐き気、嘔吐を伴い、光や音に敏感になります。痛みは強く、4~72時間程持続し、体動や入浴で悪化するのが特徴です。

●群発頭痛

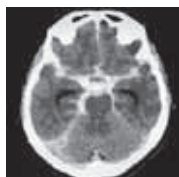
左右どちらかの眼からこめかみ周囲にかけての激しい痛みと、眼の充血、涙、鼻水、鼻づまりを伴うのが特徴です。発作は1日に2~8回繰り返され、数日~3ヶ月程続きます。

二次性頭痛とは

今まで経験したことのない頭痛と共にめまい、吐き気、嘔吐、目の見えにくさ、手足の動きにくさ、発熱、発疹など、体に異変が現れます。危険性の高い病気が隠れている可能性があり、治療が必要です。

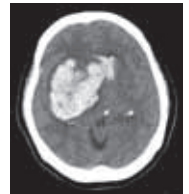
●くも膜下出血

脳動脈瘤が突然破裂し、脳を覆うくも膜下に出血を起こします。突然、今までに経験したことのない痛みが襲い、吐き気、嘔吐、意識障害を認めます。頭痛の数日~数週間前に前兆となる軽い頭痛が起きることがあります。クリッピング術やコイル塞栓術などの治療が必要です。



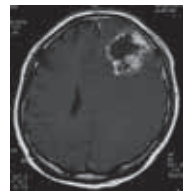
●脳出血

高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、不摂生な食生活によって動脈硬化(血管の老朽化)が進行します。脳の血管が破綻し、急に頭痛が起きて短時間で痛みはピークに達します。頭痛は軽くても手足の麻痺や言葉の障害が後遺症として残る可能性があります。



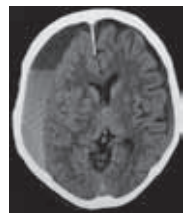
●脳腫瘍

脳にできた腫瘍が大きくなるにつれ、頭痛もだんだんと強くなり、手足の麻痺、言葉の障害、視力視野障害を認めます。摘出術を行い、悪性の所見や病変が残存した場合は放射線治療や化学療法が必要です。



●慢性硬膜下血腫

頭部打撲が原因で頭蓋骨と脳の間で徐々に出血し、1~2カ月後に血腫が脳を圧迫して頭痛が起こります。歩行障害、物忘れ、尿失禁を認めると認知症に間違われることがあります。血腫を取り除く手術をすると症状は良くなります。



●髄膜炎・脳炎

ウイルスや細菌の感染が髄膜に及び高熱と共に激しい頭痛が起こり、首の後ろが硬くなります。炎症が脳まで及ぶと脳炎となり、意識障害を認めます。

二次性頭痛 こんな症状が出たら要注意

このような症状が出たら危ない...!? 生命に関わる疾患が潜んでいるのかも!?
ここでは、一例を紹介いたします

- 今までにないこれまで感じたことがないような強い頭痛
- 意識がもうろうとする頭痛
- 1週間以上、ひどい頭痛が続いている
- 長時間続いている頭痛
- めまい、吐き気や嘔吐を伴う頭痛
- 言葉の障害(呂律が回らない、言葉が出にくい)を伴う頭痛
- 手足の痺れ、麻痺、けいれん
- 物が二重に見える
- 突然激しい頭痛が起きた
- 体がふらつき、まっすぐに歩くことができない
- 高熱を伴う頭痛
- 体の左右の片側の手足に力が入らない など...

こういう症状が出ましたら
早めの受診をお願いいたします





池井聰 名誉院長が 叙勲の栄に



さる令和3年11月3日に、当院の名誉院長でいらっしゃいます、池井聰先生が“瑞宝中綬章”の栄に浴されましたので、ご報告させていただきます。

先生は、昭和45年に熊本大学医学部を御卒業後、同大外科学第二講座に入局され、昭和57年から同講座の講師をお務めになられました。その間、昭和52年から国立療養所菊池恵楓園外科、昭和54年から国民健康保険高千穂町立病院副院長、昭和55年から熊本大学教育学部特別別科講師を歴任されました。平成4年より、米国ハーバード大学に留学されたのち、平成6年2月より当院（国立熊本病院）へ外科医長として赴任されました。

伝統ある当院外科を牽引される傍ら、平成7年から救急医療センター長・救急部長、平成15年より副院長、そして国立病院機構となり平成20年より宮崎久義先生の後を継いで院長となりました。平成24年に退任されるまでの4年間に、熊本県災害拠点病院指定、当院の新病院竣工移転、熊本防災消防ヘリ支援病院・熊本県地域救急医療体制支援病院指定など、当院の救急医療発展に尽力されました。

先生が当院に赴任された平成7年頃は国立病院の統廃合が進められており、当院としては、赤字脱却の最終手段として命運をかけた「救急医療」を立ち上げた年でした。先生は救急部長として職員を牽引され、消防救急隊員の教育にも協力されました。更に平成15年に当院を救命救急センターに昇格させ、平成20年には「24時間365日断らない救急医療」が評価され、人事院総裁賞受賞の運びとなりました。

当院退任後は名誉院長となられ、特定医療法人成仁会くまもと成仁病院総院長としてご活躍されています。また現在、二の丸会会長もお務めいただき、私ども職員にとりまして、誠に嬉しく励みになるニュースでございました。

先生の今後のご健勝と、ますますのご活躍を心より祈念申し上げます。



国立病院機構熊本医療センター
院長
高橋 毅
Takeshi Takahashi



熊本県医師会慶祝者式典にて

研修医レポート

臨床研修医

藤本 雄太
ふじもと ゆうた



こんにちは。研修医1年目の藤本雄太と申します。長崎大学医学部を卒業し、2021年4月より熊本医療センターにて初期臨床研修をさせて頂いております。右も左もわからないまま初期研修がスタートし、気づけば9カ月が経っていました。ここまで無事に臨床研修を続けられたのは指導医をはじめ、まわりのコメディカルの方々に支えられてきたお陰です。本当にありがとうございます。

私は4月から糖尿病・内分泌内科、消化器内科、麻酔科、救急科、精神科、産婦人科、小児科を回らせて頂き、現在外科で研修しております。糖尿病・内分泌内科ではやはり

糖尿病患者さまと接する機会が多く、日々の血糖値変動をみて指導医とともに内服やインスリンの調整について考察したことはとても勉強になりました。消化器内科では、毎朝腹部エコー検査を行います。エコー走査の仕方や見方が分からず苦労しましたが、先生方のフィードバックにより消化器内科研修を終える頃には、はじめと比べエコーの自信がとてついたので実感しました。麻酔科では、ルート確保をはじめ気管挿管などの手技が多く、また薬剤の取り扱いや輸液・輸血ルートの組み立てなど臨床で実践的な経験を数多くさせてもらいました。精神科では、不安・不眠、せん妄など入院患者さまのプロブレムについての対処や内服の考え方について細かく指導して頂きました。産婦人科では、患者さまの術前術後管理の仕方や、手術での糸結びや縫合などの手技について丁寧に教えて頂きました。小児科では、小児の採血やルート確保をさせて頂く機会が何度もあり、小児ならではの難しさがあり、とてもいい経験になりました。

研修期間も残り1年少しと折り返し地点に差し掛かるうとしていますが、実りのある研修生活を送れるよう精進してまいります。

今後ともご指導の程よろしくお願いたします。

臨床研修医

藤本 博樹
ふじもと ひろき



こんにちは。研修医一年目の藤本博樹と申します。福岡大学医学部を卒業し2021年4月から熊本医療センターにて初期臨床研修をさせて頂いております。

私は4月に血液内科から研修が始まりました。研修医生活が始まったばかりで右も左もわからない状況で、うまくやっつけられるかなあという不安に押しつぶされそうになった時もありましたが、指導医の先生をはじめ上級医の先生方の熱心な温かいご指導のおかげで医師としての道をしっかりと歩みだすことができました。また、上級医の先生方だけでなく、看護師さんや薬剤師さん、クラークさんなど多くの医療関係職の方々に励ましをもらいながら医師として日々精進できたと思います。まさに、様々な職種との連携が大切である医療の根幹部分をその身で経験して学べたことは、今後の私の医師生活における一生の宝であると思

ます。

また、研修医生活一年目は新型コロナウイルスが猛威を振るう中での研修となりました。例年とは少し研修中の内容が異なることや、新型コロナウイルスワクチン接種など多くの初めての出来事、新型コロナウイルスについて知らないことなど不安がたくさんありました。しかし、毎週木曜日の朝に上級医の先生方の講義（二の丸モーニングセミナー）があります。そこで、各科の上級医の先生方より、実臨床向けにご教授いただきます。この場で新型コロナウイルスのこと、どのように患者さまを診察していくか、どのように患者さまそして自分自身を感染から守っていくかということをしっかり学ぶことができました。正しい知識が増えるにつれて不安もなくなり安心、安全な医療を行える基礎知識を身に付けることができました。ご教授いただきました先生方、お忙しい中大変ありがとうございました。

研修医生活一年目も光陰矢の如しというように過ぎ去っていきましたが熊本医療センターで研修できて本当によかったと思えます。

来年度は二年目の研修医生活が始まりますが、しっかりと後輩に指導し、また自分自身も日々勉学に励み、正確な知識を身につけて医師として成長していきたいと思っております。

基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

2022年3月研修のご案内

第50回 診断と治療—最新の基礎公開講座—【WEB】 [日本医師会生涯教育講座2.0単位認定]

日時▶ 3月5日(土) 15:00~17:30
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「臨床における病理診断科の役割」

座長 魚返外科胃腸科医院 院長

魚返 英寛 先生

(1) 当院における病理診断科の歩み

国立病院機構熊本医療センター診療部長/病理診断科部長

村山 寿彦

(2) 病理診断科とゲノム医療

福岡大学医学部病理学講座 助教

武藤 礼治 先生

※今回の講演はWebex配信によるWEB講演会に変更になりました。

受講をご希望の方は右記メールアドレスまでお申込みください。mail : mng.kumamoto@deluxe.ocn.ne.jp

第133回 国立病院機構熊本医療センター クリティカルパス研究会

日時▶ 3月16日(水) 17:30~18:30
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

小児科火曜会【WEB配信あり】

日時▶ 3月22日(火) 19:00~21:00
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修室1

※今後の感染状況や熊本県の動向を踏まえ、急遽中止させていただく場合がございます。
最新の情報は当院ホームページでご確認いただくか、事務局までお問い合わせください。

研修へのお問い合わせはこちら
国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター (096) 353-3515 (直通)

研修センター
QRコード▶



令和4年度「診断と治療—最新の基礎公開講座—」会員募集のご案内

国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センターでは医師の生涯研修の一環として熊本県医師会、熊本市医師会と共催で「診断と治療—最新の基礎公開講座—」を開催致しております。

つきましては来年度、ご参加いただける会員様を募集いたします。

ご希望の方は当院ホームページの申込書をダウンロードしてFAX、郵便、メール等で下記の申込先までお送りください。会員のご登録を頂いた方には事前に資料をお届けいたします。

(申込書は4月よりホームページに掲載いたします。)

- ・定員：約100名
- ・参加費：無料

【申込先】〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号
国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター事務局
TEL：096-353-3515 (直通)
FAX：096-352-5025
MAIL：mng.kumamoto@deluxe.ocn.ne.jp

※本講座は日本医師会生涯教育講座に認定される見込みです。

患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565 096-353-6566

FAX
096-353-6563



国立病院機構
熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明

令和4年3月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	
	血液	河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 三井 士和	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志(午前新患) 西田 周平(午前再診)	西田 周平(午前新患) 西川 武志(午前再診)	西川 武志(午前新患) 橋本 章子(午前再診)	木下 博之(午前新患) 大村 和寛(午前再診)	橋本 章子(午前新患) 木下 博之(午前再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記(院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)	(午前紹介/院内コンサルト) 原 英記	名村 亮 原 英記(院内コンサルト)	小野 宏 原 英記(院内コンサルト)	
	感染症内科		小野 宏			小野 宏	
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	松下 昂樹	富田 正郎	
	腫瘍内科	境 健爾 三井 士和	境 健爾 榮 達智	境 健爾 磯部 博隆	境 健爾 三井 士和	境 健爾 榮 達智	
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一	杉 和洋 中田 成紀 向坂 健佑	杉 和洋 石井 将太郎	杉 和洋 松山 太一 松田 暖	中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟	
	内視鏡	午前	中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟	松山 太一 馬見塚 大悟	松山 太一 松田 暖	中田 成紀 向坂 健佑	石井 将太郎 松田 暖
		午後	中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟 松田 暖	石井 将太郎 松山 太一 松田 暖	中田 成紀 松山 太一 馬見塚 大悟 松田 暖	中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑 馬見塚 大悟	石井 将太郎 松山 太一
	腹部超音波	杉 和洋 松田 暖	石井 将太郎 松田 暖	中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟	石井 将太郎 馬見塚 大悟	松山 太一	
心臓血管センター (循環器内科)	診 察	藤本 和輝 日下 裕章(新患) 木村 優一(新患)	田山 信至 野津原 淳(隔週 新患) 長倉 拓究(隔週 新患)	松原 純一(新患) 日下 裕章	藤本 和輝(新患) 野津原 淳 長倉 拓究 白尾 友宏	松原 純一 木村 優一 田山 信至(新患)	
	(心臓血管外科)	手術日	岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実	
精神・神経科	初めの方	山下 建昭	神野 哲平	担当医	森並 次朗 荻野 肅	山下 建昭	
	2回目からの方	担当医	山下 建昭		山下 建昭	橋本 聡	
小児科	診察	水上 智之	西村 円香	水上 智之	水上 智之	山下 貴大	
	免疫	水上 智之		水上 智之	水上 智之		
	血液	右田 昌宏		山下 貴大		右田 昌宏	
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美	
外科		宮田 辰徳 藤川 和晃	水元 孝郎 井上 光弘	野元 大地	宮成 信友 井上 光弘	久保田 竜生	
	脳神経センター (脳神経外科)	中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	宮崎 愛里 大塚 忠弘	中川 隆志	斎藤 大嗣 大塚 忠弘	
(脳神経内科)	幸崎 弥之助	小阪 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助 小阪 崇幸			
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平	手術日	福元 哲也 前田 智 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平		坂本 佳菜子 高木 寛		中馬 東彦 高島 佑輔	
泌尿器科	前田 喜寛 銘苅 晋吾	菊川 浩明 鯨島 智洋 近浦 慶太	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘苅 晋吾 山中 達郎	東 菊川 浩明 俊之介 / 担当医		
産婦人科	高木 みか	(西村 弘) 山本 文子	山本 文子	高木 みか 山本 直	(西村 弘) 山本 直		
感覚器センター (眼科)	榮木 大輔 吉積 華子 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 吉積 華子 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 吉積 華子 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 志茂田 裕	手術日	担当医	上村 尚樹 志茂田 裕		
感覚器センター (皮膚科)	初診(紹介あり)	城野 剛充	牧野 公治	市村 知佳	西 葉月	中嶋 仁美	
	再診 (その他 初診)	城野 剛充 市村 知佳	牧野 公治 西 葉月	市村 知佳 中嶋 仁美	城野 剛充 西 葉月	牧野 公治 中嶋 仁美	
形成外科	(午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 石田 拓也	(午後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 石田 拓也	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 石田 拓也		
放射線科	治療(予約制)	富高 悦司、山口 晃世					
	画像診断	根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、幸村 紘子、吉松 俊治					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談)		休診		(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)		
緩和ケア外来	磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆		
歯科 口腔外科		森 久美子 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈	中島 健 森 久美子 谷口 広祐(隔週) 中川 文雄 早川 真奈(隔週)	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈	
	救命救急センター	櫻井 聖大、橋本 聡、山田 周、深水 浩之					
看護外来	ストーマ	國友 耕太郎		木村 文彦		宮内 大介	
	がん看護	専門看護師(午前)	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	移植後フォローアップ	専門看護師 他	専門看護師	専門看護師	専門看護師	専門看護師	
薬剤師外来	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	

(注)担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。 R4/3/1